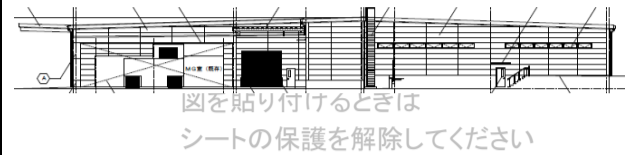


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	荏原製作所新M2棟新築工事	階数	地上1階
建設地	藤沢市本藤沢4丁目4742番地-1	構造	S造
用途地域	工場専用地域、指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年9月24日
敷地面積	4,388㎡	作成者	(株)川崎設計
建築面積	2,866㎡	確認日	2024年9月26日
延床面積	2,897㎡	確認者	(株)川崎設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	小田急江ノ島線善行駅からバスで10分ほどの工業専用地域に、S造・平屋の工場を計画した。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	階高は、3.9m以上となるよう階高の高い建物となるように空間のゆとりへ配慮した。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	LGS下地を使用し、部材の再生利用可能へ配慮した。	燃焼機器は使用しておらず、大気汚染物質を全く発生しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される